

市原市防災庁舎工事かわら版

発行所
大成・進和
特定建設工事
共同企業体
発行人
松本 実
編集
中道 毅

重篤症状につながる「熱中症」に対する作業所の予防対策

毎年この暑い季節を迎えると必ずついて回るキーワードとして、「熱中症」が挙げられます。昔は「日射病」ともいわれていましたが、日射病は熱中症の一種で、直射日光に起因するものであるのに対し、熱中症は体調不良や寝不足等様々な原因による症状を指しており、現在では総合的に熱中症という言葉が使われています。高温炎天下での作業が多い建設業においては、熱中症は非常に注意すべき症状であり、その予防対策については、熱中症の取り組みをご紹介します。

人間の体は平常時、暑さや運動による動きで体温が上昇するのに伴い、発汗や皮膚温度で体温が調整されます。様々な要因でこのような体温調整機能が働かなくなると、体内に熱が溜り様々な症状を発症してしまいます。これが熱中症です。

熱中症をもたらす要因は、
①高温・高湿度・無風・急激な気温上昇といった「環境」、②高齢・乳幼児・持病・二日酔・寝不足といった「体調・年齢」、③激しい運動・慣れない動き・長時間の屋外での運動や作業・水分の非補給といった「行動」の3つにあるといわれています。

耐用年数80年のアスファルト防水

ここ防災庁舎の作業所では7月現在、躯体工事が完了し各所で仕上げ工事を施工しているところです。また、屋上では建物内に雨水が入らないように防水工事を施工しています。この防水工事についてご紹介をします。防水工事も様々な種類がありますが、防災庁舎の屋上はアスファルト防水を採用しています。アスファルトは原油に含まれる炭化水素を主成分とする混合物で、道路舗装等で馴染みがあると思います。このアスファルトを防水施工として本格的

に用いた工法は、日本ではおよそ一〇〇年前からあり、歴史のあるかつ信頼性の高い工法といえます。また、期待される耐用年数も他の防水工法が一〇年程度に対して通常のアスファルト防水は二〇年程といわれます。とりわけ防災庁舎では、耐用年数八〇年のものを採用しています。

基本的な工法としてはまず始めに、コンクリート下地にプライマー(接着材)をむらなく全面に塗ります。次にアスファルトを溶かします。アスファルトは常温の場合、固形になっているため、溶融釜で加熱して溶かします。溶かす温度も所定

現場ハイライト



↑溶融釜にて熱してアスファルトの塊を溶かしている状況



↑アスファルトルーフィングシートを溶かしたアスファルトで張付けている施工状況

の温度があるので、随時温度計で管理しながら溶かします。溶融が完了したら、アスファルトルーフィング(アスファルトを染込ませたシート)を溶かしたアスファルトを接着剤にして張付けていきます。この時もルーフィング同士の重ね幅や張付けの

順番や手順、ルーフィングの重ね枚数(層数)、ルーフィングの種類等、メーカーによる規定に従って施工をしています。

防水工事は、建物の保全に大きく関わるものなので、重点的な施工管理が必要になります。

一つ目の「環境」に対しては、暑さ指数(WBGT)という気温と湿度と日射等の熱環境を掛け合わせた指数を専用の機器で計測し、その指数内の基準で「危険」「厳重警戒」「警戒」「注意」に分類し、今現在がどの状態なのかを作業員に周知して注意喚起をしています。周知の方法としては、朝礼や昼の打合せで口頭で行ったり、休憩所の



↑WBGT指数表示をモニターに映しだして周知を図っている。

モニターに映し出して一目でわかるようにしています。また、最近では空調服と呼ばれる充電電池で動くファン付きの作業着等冷却グッズの着用を推奨するように指導・働きかけをしています。

一つ目の「体調・年齢」に関しては、高齢の作業員に対して現場内で積極的に声掛け体調確認を行い、朝礼後のKY時(危険予知のミーティング



↑空調服。腰にあるファンから体内に送風されて、体温を下げる。

ング時)に体調に関する質問をして、体調不良に該当するようであれば、作業調整をするように指導しています。

二つ目の「行動」については、仕事上動かざるを得ないので、現場内にウォータークーラーや製氷機を用意して積極的に水分補給ができるようにしています。また、同時に塩分も採れるよう「塩あめ」の配布をして熱中症に対応しています。



↑休憩所内に製氷機を設置して自由に氷が利用できるようにしている。

ゴーヤ成長記録 第3回

梅雨時期ではありませんが、毎日30度前後に達する暑い日が続いています。ゴーヤも目まぐるしい成長が見られ、高いものもすでに事務所の上階に到達しました。実はまだできていませんが、来月にはしっかりと実ができています。



大成・進和JV 所員紹介
建築担当工事係 岩田 望

建築工事係の内装工事を担当している岩田です。現場2年目でまだわからないことが多いですが、少しでも市民の皆様の一助となるようがんばっていきます。よろしくお願います。